

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		先端技術の活用等による生産・流通システムの革新等				
評価方式		実績	政策目標の達成度合い	今年度はモニタリング実施のため、達成度合いの判定は行っていない	番号	⑪
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額
予算 の 状 況	当 初 予 算 （ 千 円 ）		4,053,760	3,332,293	2,498,644	2,363,913
			<23,084,773>	<20,875,153>	<20,284,504>	<29,110,380>
	補 正 予 算 （ 千 円 ）		0	100,000	0	
			<4,299,550>	<12,574,900>	<0>	
	繰 越 し 等 （ 千 円 ）		3,436,697	2,147,782		
			<25,052,967>	<35,278,729>		
	計（千円）		7,490,457	5,580,075		
			<52,437,290>	<68,728,782>		
執 行 額（千円）	6,970,286	5,172,747				
	<49,285,637>	<24,343,749>				
政策評価結果の概算要求への 反映状況		農業者の高齢化、労働力不足が進む中で、担い手の一層の規模拡大、省力化や低コスト化等を実現する技術導入を推進する。 このため、平成30年度概算予算においては先端技術等の活用等により、コスト削減や高付加価値化を実現するための目標達成に寄与する事業実施に係る予算要求等を行った。				

政策評価調書（個別票2）

政策名	先端技術の活用等による生産・流通システムの革新等						番号	⑪	(千円)	
	予 算 科 目						予算額		政策評価結果等の反映 による見直し額（削減 額）合計	
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項		29年度 当初予算額	30年度 概算要求額		
対応表に おいて● となっているもの	●	1	一般	農林水産本省	先端技術活用生産・流通体制強化対策費	先端技術活用生産・流通体制強化対策に必要な経費	656,409	569,328		
	●	2	一般	農林水産本省	農業・食品産業強化対策費	農業・食品産業強化対策に必要な経費	< 20,174,124 >	< 29,000,000 >		
	●	3	一般	農林水産本省	農林水産業ロボット技術活用推進費	農林水産業ロボット技術活用推進に必要な経費	< 110,380 >	< 110,380 >		
	小計						656,409 < 20,284,504 >の内数	569,328 < 29,110,380 >の内数		
対応表に おいて◆ となっているもの	◆	1	一般	農林水産本省	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構運営費	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構運営費交付金に必要な経費	1,749,435	1,641,585		
	◆	2	一般	農林水産本省	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構施設整備費	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構施設整備に必要な経費	92,800	153,000		
	小計						1,842,235 < 0 >の内数	1,794,585 < 0 >の内数		
合計						2,498,644 < 20,284,504 >の内数	2,363,913 < 29,110,380 >の内数			

政策評価調書（個別票3）

【見直しの内訳・具体的な反映内容】

[illegible]